

「教育研究上の目的」

文 理 学 部

「文と理の融合」を教育理念に掲げ、教養教育と専門教育の両面から総合的・学際的な教育を行い、かつ高度な専門的研究も行う。また、時代や社会のニーズに応えられる教養教育、語学教育、情報教育の充実を図り、かつ特色ある専門教育により、総合的な学力または専門的な学力を有する人材を養成する。

（文学専攻 国文学）

日本語・日本文学・書学の各分野における多角的で総合的な研究に基づく教育を目的とし、中・高等学校等の国語科教員をはじめとして、日本語・日本文学・日本文化に関する深い知識と、それらを駆使した優れた思考力、対話力、文章力、プレゼンテーション能力をもった、社会的に有為な人材を養成する。

（文学専攻 英文学）

高度な英語運用能力と英米文学及び英語学の知識に基づく豊かな教養を備え、国際社会の場をはじめ各方面で活躍できる能力を持つ人材を養成する。具体的には、コミュニケーション中心の科目の学修を通して、社会に十分通用する英語運用能力を身に付けさせ、英米の文学・文化・言語の専門知識に裏打ちされた多様な価値観を持つ、個性豊かな人材を養成する。

（哲学専攻）

哲学・宗教学・倫理学の理論と方法を学ぶことを通じて、人間の価値と文化的実践に関わる総合的・体系的研究を行う。特に、古今の哲学者の著作を厳密に読解することを基本としながら、思想全般にわたる幅広い知識を身に付ける。それによって、多様化する現代社会の中で自ら問題を発見し、分析して解決する鋭い思考力と複眼的なものの見方をもった人材を養成する。

（史学専攻）

現代社会の様々な問題を解決するためには、過去の経緯を踏まえることが必要である。入門科目・概説科目・特講科目・演習科目を基本に歴史及びその研究法を習得し、歴史的視点と、より正確な歴史像把握の方法を身に付け、豊かな現代社会の構築に寄与する人材を養成する。